

# いえこ新聞 3rd Life ～私はお母さん～

第44号  
平成27年1月1日発行  
(偉大7歳7か月)  
yff13620@nifty.com



## ファンキーばばぁになりたい



年も明け、今年で43歳になります。若いころなら「43」という響きは衝撃的なものでしたが、実際になってみるとそれほどでもない。そこで、自叙伝というわけではありませんが、少し自分のことについて書いてみたいと思います。

子どものころは4人姉弟の2番目として何不自由なく育ちました。上を見ればきりがありませんが、毎年春と夏には家族旅行に行くような、どちらかといえば贅沢な環境だったかなと思います。

性格的にはいまの偉大と同じで、元来生真面目なタイプだったのですが、成長に伴い、世の中のいろんな理不尽を感じながら「大人なんて大したことない」「世の中ってなんとかなるもんよね」と、すべてを甘く考えるようになり、高校を卒業して以降は、どう見ても「まじめ」とは言えないタイプになっており、両親をそうとうやきもきさせたと思います。

ある日のこと、1つ下の弟が「おとん(父)が仕事から帰ってきたとき、りえちゃんがいないと家の中の空気が悪くなるから、いい加減してくれ!」とあまりの自由奔放さを指摘してきたことがありました。しかし、そんなことを気にもとめなかった私は「おまえこそ男のくせに毎日毎日家に帰ってくるな!」と言い返した覚えがあります。それでも弟とは仲が良く、同じカラオケボックスでバイトをしていた時期があったり、夜中の飲み会に行くため2人で自宅の2階の窓から抜け出したりしていました。(^^)

冷静に考えると、私はちょっと普通の姉と違っているのかもしれない。エピソードは数々ありまして、例えば1つ下の弟が無免許で原チャリに乗って補導されたときは「普通は逃げ切れるはず! 捕まるなんてどんくさいわ!」と声をかけ、甲子園を目指す野球少年だった3つ下の弟には銀玉遊戯を教えこみ、弟の友達数名をまるで舎弟のように従えて、よく一緒にホールに出かけていました。

姉はお酒を飲みませんが、私と弟2人は父の血を引いたのか、かなりいける口なので、3人で飲みに行くこともありました。

今ではそれぞれ家庭を持ち「家族旅行って金がかんねんな」とつぶやく弟たちを滑稽に思いながら、両親に感謝しています。

人からは「そんな風に見えない!」と言われ続けて二十数年ちょっと異質なタイプですが、いつまでもファンキーでありたいと思っています。

人によっては「罰が当たった」という考え方をされるかもしれませんが、幸いにもそのような思考回路を持ち合わせてなかったのがラッキーでした。

2015年。呼吸器人生3年目も、自分に負けることなくファンキーにいきたいと思います。

## HAPPY NEW YEAR

本年もよろしくお祈り申し上げます  
2015.1.1



### 2014年 KOTA BEST 1

『 パパママへ  
いつももんくばかりいってごめん  
これからは、あんまりゆわないようにするね  
おそくなっただけど林偉大っていい名まえをつけてくれて  
ありがとうじぶんの名まえをだいじにするね!!  
パパとママがスキップ(学童クラブのことです)につれて  
いってくれたから一年から六年までいっぱいともだちが  
できたのは、パパとママのおかげだよ  
パパママ大好きだよ  
偉大より 』

こんな手紙が書けるようになった息子の成長に涙しました。そしてママはそろそろ泣くかな?と私の様子をチラ見しながら読んでくれる偉大が愛おしくてたまりません。

「偉大」=人に大きな幸せを与えられるような余裕のある人間に育って欲しいという想いが込められています。

### ～旦那後記～

みなさま、あけましておめでとうございます!  
かなりドタバタしましたが、なんとか12月中に引越しを済ませることができました。新住所は以下の通りです。

〒170-0013

東京都豊島区東池袋4-41-27 トーカンマンション大塚201

なお在庫の関係上、封筒の住所はしばらく旧住所のままとなりますので、ご了承くださいませ。m(\_)\_m

### 今月のお知らせ

- 2014年も「いえこ新聞」にお付き合いいただきましてありがとうございました。  
今年も、皆様がたくさんのお幸せに出会えますように。
- 昨年末、ラジオドラマに出演させていただきました。